

ECO-TOP プログラム（自然環境保全を担う「人材育成・認証制度」）

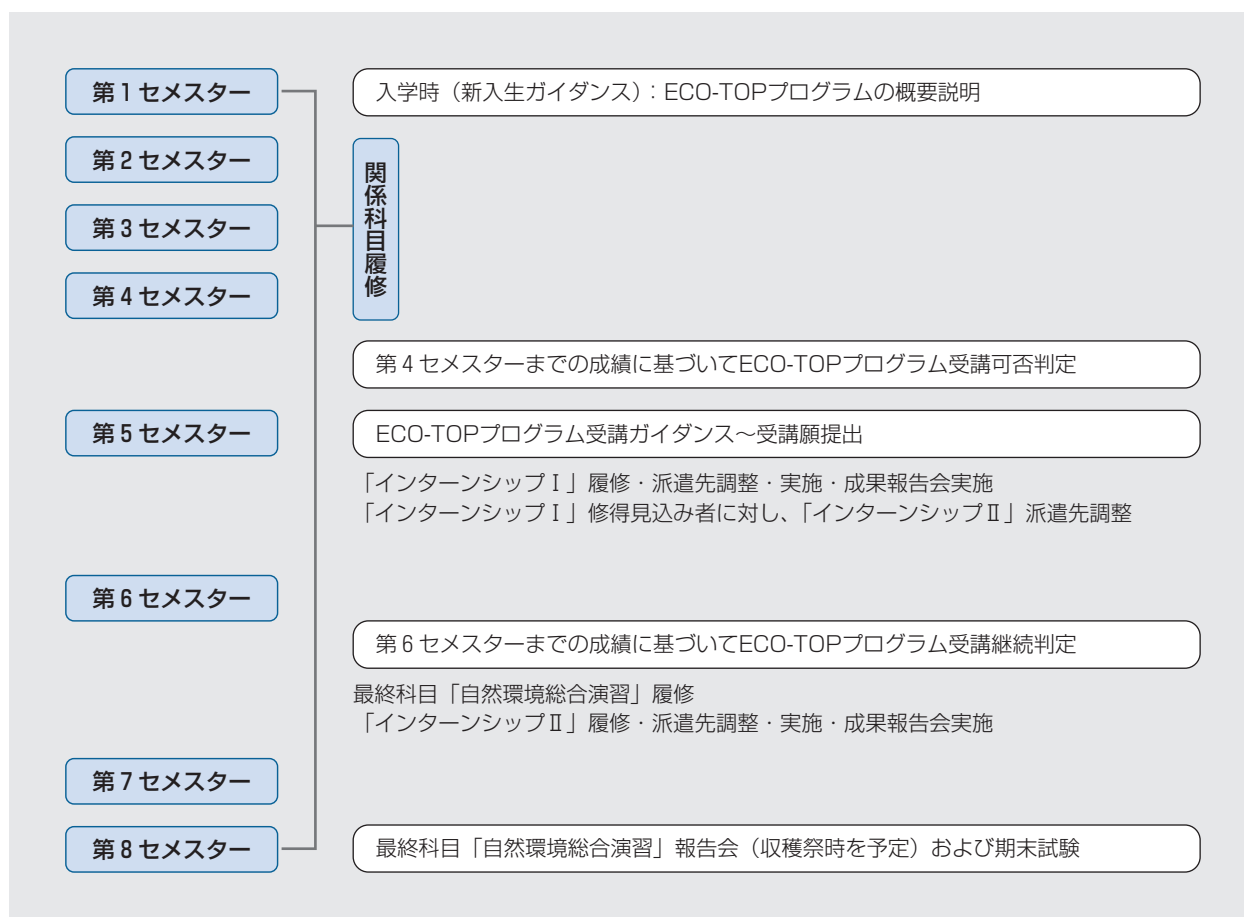
環境農学科では、自然（生態系）・農業・社会の3つを柱として、自然環境保全をはじめとするさまざまな環境問題を多方面から体系的に理解し、問題解決に取り組むことができる人材の育成を目指しています。また、環境問題には国境がない一方、地域特有の問題（気候や自然風土・社会などの地域性）への配慮も大切となることから、本学での科目履修（講義、実習）だけでなく、海外留学プログラム（カナダまたはオーストラリア、2年次に約4か月間）や学外実習地（箱根・北海道・鹿児島）での野外実習プログラムを重視しています。これらの知識・技能・経験を活かして、さまざまな社会現場での自然環境保全活動に携わったり、指導的役割を担える人材として、東京都による「ECO-TOPプログラム」資格を認定します。

ECO-TOPプログラムにおいて目標とする人材像

- ① 地域コミュニティにおける自然環境保全活動等の参加者、指導者
- ② 自治体・企業・NPOなどにおける自然環境保全政策・計画、環境経営部門などの従事者
- ③ 農林水産・畜産業従事者、生産物加工業・流通業・造園業・建設業などの企業従事者
- ④ 自然公園等の管理者・レンジャー、自然観察指導員、博物館学芸員、大学や研究機関の研究者
- ⑤ 教員（中・高理科、高校農業）、その他地域等で自然環境・生物保全の大切さを啓蒙する人

ECO-TOPプログラム受講の流れ（概要）

本資格取得希望者は、第5セメスターに実施されるECO-TOPプログラム受講ガイダンスおよびインターンシップ受講ガイダンスに必ず出席してください（ガイダンス時期については掲示等で案内します）。また、指定された期日までに授業運営課へECO-TOPプログラム受講願を必ず提出してください。



■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	PA	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	MD		
	先端食農	マネジメント			AE		
		エンジニアリング					

科目群		科目	単位	必選	備考
総合科目 合計 6 単位	カリキュラムの導入科目	生態学概論	2	必	
	安全管理・救急救命に関する科目	野外安全教育	2	必	実習を含む
	カリキュラムの最終科目	自然環境総合演習	2	必	演習
自然科学科目 必修を含み 6 単位以上	生態学・分類学に関する科目	地球環境と生態系	2	必	
		生物科学	2		
		環境農学概論	2		
		動物行動生態学	2		
		分類学	2		
		植物科学	2		
		土壌生態学	2		
	自然環境の保全と 適正利用に関する科目	自然環境保全学 環境科学*	2 2		
	農学・農業に関する科目	環境と農業	2	必	
		農業と動物	2		
持続的農業論 植物繁殖学		2 2			
地理学・地球に関する科目	地理学 生物環境物理学	2 2			
生態学・農学・農業に 関する実習科目	農場実習Ⅰ	1	必	実習 実習 実習	
	農場実習Ⅱ	2	必		
	農場実習Ⅲ	1	必		
社会科学科目 必修選択を含み 6 単位以上	環境と社会、法令、経済学に 関する科目	環境と法令	2	必修選択 (1科目以上)	
		環境経済学	2		
	地域環境とその利用に 関する科目	環境マネジメント論	2		
		農学国際協力	2		
		農業マーケティング論	2		
		地域環境論 地域環境研究 緑地環境学	2 2 2		
人文科学科目 必修を含み 6 単位以上	環境・生命と倫理、文化に 関する科目	環境倫理学 比較文化論	2 2	必	
	環境教育に関する科目	環境教育*	2		
インターンシップ	インターンシップⅠ	2	必	インターンシップⅠ 修得者のみ履修可	
	インターンシップⅡ	2	必		

資格取得に 必要な単位数	38単位以上
	必修科目 22単位：18単位（導入・安全管理・最終、実習・演習科目）＋4単位（インターンシップ）
	必修選択科目 2 単位以上
	選択科目 14単位以上（※社会科学科目4 単位以上、人文科学科目2 単位以上を含むこと）
受講開始基準	① 学修継続条件に抵触したことがないこと
	② 2 年終了時の総合成績（累積GPA）が所属学科学年の上位 1 / 3 以内であること
修了判定基準	① 「インターンシップⅠ」および「インターンシップⅡ」を修得していること
	② 「自然環境総合演習」において、プレゼンテーションと最終試験に合格すること
	③ 必修科目、必修選択科目を含み、34単位以上を修得していること

*ユニバーシティ・スタンダード科目

Ⅲ
資格を取得するために

ECO・TOPプログラム